

[第22回] クイズ  チャレンジ!!



琵琶湖文化館の収蔵品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。さあ、答えがわかるかな? 気軽にチャレンジしてみよう!

問題63

大津市坂本の聖衆来迎寺しょうじゅらいこうじに伝来した香合こうごう（香を収納する蓋付きの小さなうつわ）は、堆朱ついでしゆといわれる技法しつけいでつくられています。堆朱は、中国において唐・宋時代ごろから始まった漆芸技法のひとつです。本品は、木製の型にえんじ色の漆層うるしを重ね、さらに朱漆を何層も塗り重ねた後、草花を彫り出してつくられています。そこで問題です。この香合の蓋中央に大きく彫り出されている花は、何でしょうか? 次の中からお選びください。



「Q」 工芸品へ堆朱香合

- ① 牡丹 (ボタン) ② 薔薇 (バラ) ③ 石楠花 (シャクナゲ)



問題64

ほとけさまの中で、迷いや煩惱が解けて悟りを開いた存在にょらいを「如来」と言います。古代インドの釈迦族しやがの王子で、仏教をおこしたゴータマ・シッダールタも悟りを開いたので釈迦如来しやかにょらいと呼ばれます。王子時代に身を飾っていた装飾品などを捨て去り、粗末な一枚の大きい布をまとった姿は、他の如来の基本形となっています。数ある仏像の中で、ほとけさまを見分けるには、手元に注目するといいいでしょう。右手を上げ、左手を差し出すこのポーズ。もっとも一般的で、釈迦如来に一番多いとされる手の形いんそうしゆいん（印相・手印）です。じつはこの手の形には、それぞれ意味があることをご存じでしたか?

せむいん 施無畏印



そこで問題です。この釈迦如来の右手の形せむいん（施無畏印）は、何を意味しているのでしょうか? 次の中からお選びください。

- ① 「恐れなくても大丈夫です」 ② 「話を聞いてあげましょう」 ③ 「瞑想中です」

釈迦如来



手の形には
いろんな意味が
あるんだよ。



[第22回] クイズ  チャレンジ!!

 + まにあQ

【解答編】

答え63

正解は【① 牡丹（ボタン）】



（大津・聖衆来迎寺蔵）

堆朱はミルフィーユのように何層にも漆を塗り重ねるので、文様を彫り込んだ部分の断面には独特の縞模様が浮かび上がります。この縞模様が文様をより立体的に見せるポイントになっています。

本品には、対となる香合がもう1セットあり、花の形態や葉の形などに違いをみせるなど、対としての対比を意識してつくられたと考えられます。いずれも県内では数少ない堆朱の逸品です。

ちなみに、牡丹によく似た花に、芍薬（シャクヤク）があります。

葉先がギザギザで木本性（樹木）である牡丹に対し、芍薬の葉には切れ込みは無く草本性（草）であるという違いはありますが、一見して判別するのは生



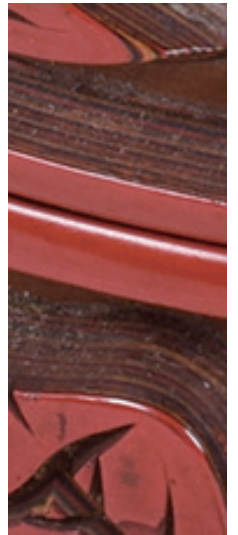
（牡丹）



（芍薬）

花でも難しいところ…。では、この2つの香合は??!


⇒どちらも「ボタン科に属する花!」ということで、ご容赦ください!



（部分）

[収蔵品紹介 < 工芸品 > 堆朱香合]

答え64

正解は【  恐れなくとも大丈夫です 】

仏像の手を思い出してみましょう。いろんな印相（手のポーズ）をしていますね。印にはそれぞれ意味があります。「釈迦如来」の代表的な印の形をみてみましょう。

施無畏印

漢字が示す意味の通り相手を安心させるポーズ。

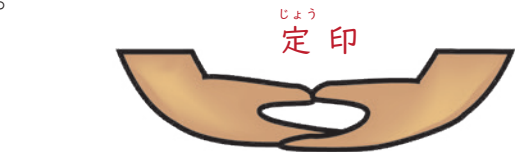


恐れなくとも大丈夫です

与願印

相手に何かを与える仕草、相手の願いをうながす仕草。願いを叶えるサイン。

話を聞いてあげましょう



定印

瞑想中です

説法印



説法中です

降魔印



悪魔よ去れ!

悟りを開いた釈迦が、悪魔を追い払ったポーズで、右手の指で地面に触れる。

【もっとも一般的な施無畏印・与願印】

※日本では少ない。



滋賀県立 琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp